

第13回世界ポスタートリエナーレトヤマ2021 THE 13TH INTERNATIONAL POSTER TRIENNIAL IN TOYAMA 2021

IPT2021 来場者が選ぶグランプリ あなたのお気に入りポスターに投票！

結果発表

7月10日～8月1日に実施しました「IPT2021 来場者が選ぶグランプリ あなたのお気に入りポスターに投票！」に、総計181票の投票をいただきました。

上位得票は以下の作品となりました。投票いただいた皆様からの感想とともにご紹介します。

第1位 No.267 《勝利》 ファン・ヘ (中国) ……11票

・コメント①

インパクトがあり、文字がないぶん想像力がかきたてられる。(富山県 40代)

・コメント②

このタイトルをつけた理由が気になる。手から指が切られ、同時に木が切られている。どうして勝利なのか、作者の思いが気になった。(東京都 10代)

・コメント③

目を引く構図と作品の意図がとても印象的。ポスターとして優れていると思う。(神奈川県 10代)



第2位 No.201 《煩惱退散》 若松萌太 (日本) ……10票

・コメント①

数ある煩惱の中から作者が退散させたい思いが、ビールや日本酒に注がれているという素直な気持ちにくすっと笑えたり、かわいいなと思えたり。自分にとってここまで渦巻く煩惱はなんだろうと考えたり、面白い作品だと思えました。

(富山県、30代)

・コメント②

コロナを一瞬忘れて、展示室で笑いました。最高です。(富山県 40代)

・コメント③

色使いが抜群に良く、また何故か未来を感じさせる不思議な魅力を持つ。

(東京都 30代)



第3位 No.021 《やきとり》 松澤 桂 (日本) . . . 9票

- ・コメント①
見た瞬間に可愛らしいと思ったのと、伝えたいことがシンプルに分かったから。(富山県 30代)
- ・コメント②
幼稚園の夏祭りという日常の場に、軽やかに柔らかなデザインのポスターがあることが素敵だと思いました。(東京都 20代)
- ・コメント③
焼鳥を楽しそうに食べる園児の笑顔が想像できる作品だった。
(石川県 30代)



第4位 No.363 《日本の女性 2021》上田楠菜子 (日本) . 8票

- ・コメント①
女性の姿を描かずに女性の存在を表現している。モノトーンな男性社会への風刺もこめられたシンプルなポスター。(富山県 60代)
- ・コメント②
メッセージ性があり、それを表現するアイデアも素晴らしいと思いました。
(富山県 40代)



第5位 No.049 《おすし》 小磯裕司 (日本) . . . 6票

- ・コメント①
一粒一粒丁寧に描かれている。背景も素敵な模様になっている。
お寿司を食べたくなります。(富山県 50代)
- ・コメント②
遠くから見た時と近くから見た時の印象が異なるところが面白い。
色彩の繊細さとモチーフの組み合わせの面白さに惹かれた。ポップで優しく
厳かな雰囲気を持たせているのがすごい。(富山県 20代)



第6位 No.187 《よくたべ よくねて よくかん がえる》

谷口広樹 (日本) . . . 5票

- ・コメント①
ほっこりして。ポスターの文言も素直な気持ちで受け入れられます。
(富山県 50代)
- ・コメント②
暖かみがあってシンプル。おしゃれて素朴な感じが好きです。
(富山県 40代)



第6位 No.288 《END RACISM》尾崎美穂（日本）・・・5票

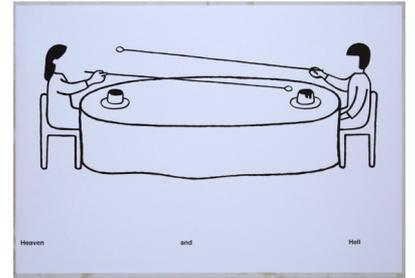
- ・コメント①
シャープでかっこよかったです。(富山県 50代)
- ・コメント②
直感的に良いと思いました。(在住、年齢 記載なし)



第6位 No.310 《Heaven and Hell》

山口久美子（日本）・・・5票

- ・コメント①
シンプルな線で表現されているのが、柔らかいようで苦しい。
この作品独特の空気感が伝わってくる。(石川県 20代)
- ・コメント②
最小限の線で鑑賞者に響きます。(東京都 50代)



その他、投票いただいた皆様からの感想を、ご紹介します。

No.071 《木材を考える》 チェン・ヤンティン（台湾）

- ・森や木材のことを伝えるのに、自然物ではなくビニールを用いた点など、メッセージ性を感じた。
(北海道 20代)

No.102 《家族》 杉浦教仁（日本）

- ・視覚に訴えるシャープな作品の中で、ほのぼの暖かい優しい気持ちになる作品だった。(和歌山県 50代)

No.123 《HOPE》 カイゼル・リシャルト（ポーランド）

- ・希望の中に愛があることが書いてあり、素敵だと思った。(富山県 10代)

No.217 《生きているかたち（展覧会）》 アトリエ・テア・ベッケ&ベハーヘ（フランス）

- ・黒やモノトーンの商品が多い中、細胞がシルバーの珊瑚礁のようで、色合いがきれい。(富山県 60代)

No.316 《HELP》 佐藤 圭（日本）

- ・人間が今コロナ禍で苦しみ、助けを求めている中、見えないところで苦しんでいる動物などがいる。そのような、今、世界が見つめるべきものは何かを上手に表現しているから。(富山県 40代)

No.386 《盲目に叫ぶI》 福島 智也（日本）

- ・パッと見た時にピンク色の背景に少女にギザギザが描かれていて、ふわふわした感じかと思いきや緊迫感があり、そのギャップに心を奪われました。(富山県 10代)

皆様、それぞれ心に残る1点を選んで投票していただき、ありがとうございました。

得票上位3名の方には賞状を、また、投票いただいた全ての方の中から抽選で、富山県美術館内食事券、富山県美術館オリジナルグッズ、IPT2021 図録、次回企画展招待券等のプレゼントをお送りします。(発表は発送をもって代えさせていただきます。)